

# 運用設計チェックシート

NO	大分類、中分類	考慮点・確認・設計事項	選定	CK	確認結果
<b>運行の仕組みや処理のスケジュール、監視作業、媒体、帳票、デリバリーや問い合わせなど、オペレータや運用管理者などの作業に影響するような項目に対して、概略設計工程段階で要件として検討や確認しておく必要なキーワード</b> (注)当フェーズで明確化、あるいは確認が取りきれなかった事項については詳細設計までに明確化させる(但し、詳細設計に大きな影響を与えない事項に限る)					
<b>1. 概略設計フェーズでの運用設計事項の選定</b>					
・APLやJOB、JOB - Net、あるいは環境などの定義類の新規/変更に伴い、概略設計工程でどのような運用設計が必要となるかを確認する。					
<b>1-1. 開発作業事項</b>					
・当システムの開発作業として発生するものが、どの設計事項に関連するかを確認する					
1	設計事項の選定	[APL]:新規/変更のAPLがJOB・JOB - Net・媒体・帳票などに関係するか			関係する・関係しない
2	設計事項の選定	[JOB]:新規/変更のJOBが監視・スケジュール・処理時間・JOB - Net・運行の仕組み・媒体・帳票・作業などに関係するか			関係する・関係しない
3	設計事項の選定	[JOB - Net]:新規/変更のJOB - Netが監視・スケジュール・処理時間・JOB・JOB - Net構成・運行の仕組みなどに関係するか			関係する・関係しない
4	設計事項の選定	[定義]:新規/変更の定義類で、環境(FTP等)・運行の仕組み・オーバーレイ・監視・スケジュール情報・JOB - Net情報・帳票情報などに関係するか			関係する・関係しない
5	設計事項の選定	[作業]:新規/変更で運用ツール(監視、JOBスケジュール、入力、出力、その他作りこみ)などへの登録・保守・変更作業が発生するか			発生する・発生しない
<b>1-2. 運用作業事項</b>					
・当システムによって、どの設計事項に関連するかを確認する					
6	設計事項の選定	当システムが稼動することによって、監視作業が発生するか			監視作業あり・監視作業なし
7	設計事項の選定	当システムが稼動することによって、オペレータの介入操作などが新たに発生するか			発生する・発生しない
8	設計事項の選定	当システムが稼動することによって、運用管理者などの作業が発生するか(特殊処理などのJOBやシェルの修正、また処理の起動など)			発生する・発生しない
9	設計事項の選定	当システムが稼動することによって、ヘルプデスクでの作業が発生するか			発生する・発生しない
10	設計事項の選定	当システムでは媒体を使用するか			使用する・使用しない
11	設計事項の選定	当システムでは帳票などが出力されるか			出力あり、出力なし
<b>1-3. 設計事項の選定</b>					
・当システムで運用設計が必要かどうか、またどの設計事項が必要かを選定する					
12	設計事項の選定	当システムで運用設計の要/不要の確認を行う 上記項目で関係する、発生するなどを選択した場合には運用設計が必要となる			要・不要
13	設計事項の選定	運用設計が必要であれば、概略設計工程での運用設計・確認事項の確認と選定を行う 必須 2. 開発作業計画 / 3. システム要件・制限 / 4. セキュリティ / 5. 監視 / 6. 作業 / 7. 運用ルール / 8. トラブル 選択 9. 処理 / 10. 媒体 / 11. 帳票			必須: 2・3・4・5・6・7・8 選択: 9・10・11 関連大分類項目
<b>3-4. 自動化要件</b>					
・当システムで自動化やそれを阻害するような要件について確認する					
46	システム要件、制限	オペレータの介入を必要とするようなMSG判断・確認することやリプライ要求は禁止			
47	システム要件、制限	都度JOBの加工やパラメータ設定変更しなから処理はしない仕様とする パラメータ設定の変更が必要となる処理は、パラメータを自動生成する仕組みを考慮			パラメータあり・なし
48	システム要件、制限	ファイルの0件時の後処理について異常終了や処理が中断しない仕様とする			
49	システム要件、制限	スケジュール処理では、運用日の切り替わり時間を考慮 24時のCPU時間での運用や連続運転方法では、業務処理内で業務の終了や開始、日付などの切り替え 自動運行ツール配下での切り替えであれば、切り替え時間や前日の業務終了、遅延の日またがり、当日の開始の運用を考慮した制御を行う			
50	システム要件、制限	24H運転でも、計画停止/再開のタイミングを考慮した業務の流れや構成とする			
51	システム要件、制限	計画停止や臨時的に業務停止した場合に、業務再開時にいきなり処理が暴走しないよう考慮する			
52	システム要件、制限	オンラインなどとの関係がある場合には、開始/終了後のトリガーにより連係を取る			
53	システム要件、制限	データの到着が前提の連係がある場合には、ファイル生成をトリガーにして連係を取る			
<b>9. 処理(選択)</b>					
・設計する処理について、想定される処理時間帯での大まかな処理やスケジュールについて確認する。					
<b>9-1. 処理時間帯</b>					
・システムを追加する上では、既存の稼動状況を把握して設計する					
103	処理	当システムの処理時間帯を明確にする(日中、夜間)			午前・午後・夕方・夜間
104	処理	想定処理時間帯での運用状況についてはあらかじめ調査・確認し、その時間帯で他のシステムや当システムに対して、処理が重なったとしても伝送、帳票出力、媒体/デッキなどに対して影響を与えない			
<b>9-3. スケジュールの自動化</b>					
・当システムの処理をスケジュールするに当たり、処理を定例化し自動スケジュール化する					
111	処理	条件(周期)が定期的なジョブについては自動スケジュール化、自動起動とし、依頼度や随時処理はな(す スケジュールのパターン(雑型)の種類や設定条件を確認する(日、週、曜日、月、半期、四半期、年間)			依頼、随時処理あり・なし
112	処理	休日・祭日・連休時での運用について明確化し、その上で自動スケジュール、自動起動が行えることとする			
113	処理	使用カレンダーパターンについては、むやみに増加させず、意味や用途の同じカレンダーを使用する			新規、既存
114	処理	処理に関する条件などについては、JOB、JOB - Net情報としてドキュメント化する			要・不要
<b>10. 媒体(選択)</b>					
・設計する処理で媒体を使用する場合に、その媒体の受け渡しについて簡単に確認する。					
<b>10-1. 媒体の取り扱い</b>					
・当システムで取り扱う媒体について確認する					
115	媒体	データ(媒体)の受け渡し方法について明確にする			受け渡しあり・なし
116	媒体	データ(媒体)の受け渡し手段について明確にする(伝送、媒体手渡し)			
117	媒体	データ(媒体)の受け渡し媒体種類や記録形式を明確にする(MT、CMT、DAT、FD、CD、DVD)			MT、CMT、DAT、FD、CD
118	媒体	データ(媒体)の受け渡し時期について明確にする			
119	媒体	データ(媒体)の受付から処理完了までのアローアンスを確認しておく			
120	媒体	データ(媒体:バックアップ等)の世代数、保管期限を決定する また、外部保管が必要有無の決定も行う			
121	媒体	データ(媒体)に関する確認情報については、媒体情報としてドキュメント化する			要・不要
<b>11. 帳票(選択)</b>					
・設計する処理で帳票が出力される場合に、どのくらい出力され、またそのデリバリー作業などについて簡単に確認する。					
<b>11-1. 帳票の取り扱い</b>					
・当システムで出力される帳票についての取り扱いを確認する					
122	帳票	帳票の出力時期、出力時間帯について明確にする			出力あり、なし
123	帳票	出力帳票の概算種類、概算出力量を算出し、出力装置、後作業、出力の集中などによる影響がないことを確認する			
124	帳票	出力帳票の出力後の後作業の有無(仕分け) 有りの場合にはその作業方法について確認する			後作業あり・なし
125	帳票	出力帳票のデリバリー方法について確認する			デリバリーあり・なし
126	帳票	使用用紙は予め用意されている用紙の種類を確認し、特殊用紙は極力避ける			標準用紙・特殊用紙
127	帳票	帳票に関する確認情報については、帳票情報としてドキュメント化する			要・不要
<b>12. JOB設計(選択)</b>					
・当システムでJOBを設計する場合に、その構成や考慮点を確認して設計する。					
139	JOB設計	JOBに関する確認情報については、JOB情報としてドキュメント化する			要・不要
<b>12-1. JOBの設計</b>					
・JOBの設計を行うに当たり、その処理だけでなく、他の処理の状況も考慮した設計を行う					
140	JOB設計	想定処理時間帯や処理時間での他のシステムや全体での運用状況を確認してJOBの設計を行う 伝送、帳票出力、媒体/デッキの使用状況、各管理ドキュメントなどから確認すること			
141	JOB設計	件数が多く処理時間がかかると想定される処理については、データを分割して多重処理構成を考慮する			
142	JOB設計	JOBの設計では更新処理、処理時間、使用リソース、異常時、媒体、帳票出力などの状態を考慮して設計する			
143	JOB設計	JOB、JOB - Netの追加/変更により、処理時間の増加などに伴うクリティカルパスの確認を行う			
144	JOB設計	データの到着が前提の連係がある場合には0件、未着、遅延、処理中、終了後クリアなどを考慮して設計する			
145	JOB設計	ステップやJOB終了後のリターンコード判定は統一する(ABEND、正常、次ステップ)			
<b>13. JOB - Net設計(選択)</b>					
・当システムでJOB - Netを設計する場合に、その構成や考慮点を確認して設計する。					
154	JOB - Net設計	JOB - Netに関する確認情報については、JOB - Net情報としてドキュメント化する			要・不要
<b>13-1. JOB - Netの設計</b>					
・JOB - Netの設計を行うに当たり、その処理だけでなく、他の処理の状況も考慮した設計を行う					
155	JOB - Net設計	JOB - Net名称は監視画面上に現れる順番を考慮し、監視しやすい名称に(Net名、処理名、代表処理名) SEQ順になることで、監視・確認する場所をあちらこちら探すことのないように			
156	JOB - Net設計	スケジュールなどで、代表スケジュールを使用する場合の上下(親子)を意識、あるいははっきり分けるJOB - Net名称を付ける			代表スケジュールあり・なし
157	JOB - Net設計	想定処理時間帯や処理時間での他のシステムや全体での運用状況を確認してJOBの設計を行う 伝送、帳票出力、媒体/デッキの使用状況、各管理ドキュメントなどから確認すること			
158	JOB - Net設計	JOB - Netの設計では更新処理、処理時間、使用リソース、異常時、媒体、帳票出力などの状態を考慮して設計する			
159	JOB - Net設計	JOB - Netの追加/変更により、処理時間の増加などに伴うクリティカルパスの確認を行う			
160	JOB - Net設計	JOB - Netの実行サーバ、代替サーバを確定させる			
161	JOB - Net設計	JOB - Netの実行キューを確定させる(シングル、n多重、デイレイバッチ)			